

国道289号甲子道路開通

国道289号は、新潟県新潟市を起点とし、福島県いわき市に至る幹線道路であり、県内においては、「南会津～白河～いわき」をつなぐ県南部の大動脈です。

しかし、日本海と太平洋の分水嶺となっている奥羽山脈の急峻な地形を横断しているため、下郷町と西郷村の間は、険しい甲子峠に阻まれ自動車通行が不能となっておりました。

このため、県では交通不能区間の解消を目的に、昭和五十年、甲子道路の整備に着手しました。標高1,549mの甲子山を貫通する「甲子トンネル」や阿武隈川源流近くの「甲子大橋」などについては、地形が険しく高度な技術が必要なことから、国土交通省とも連携し、地元の方々にも協力や応援をいただきながら鋭意整備を進め、9月21日(日)開通することが出来ました。

開通区間：国土交通省施工（直轄権限代行区間） L 5.9 km
 福島県施工 L 3.2 km

甲子道路 L 23.3 kmのうち、L 11.5 kmは既に供用済み。
 L 2.7 kmは当面、現道を利用
 甲子トンネルの概要：トンネル延長 = 4,345m、トンネル標高 = 1,004m



セレモニーの様子



位置図

「コンクリート構造物のひびわれ講習会」開催される

コンクリート構造物のひびわれ講習会は、コンクリートの初期ひび割れを防ぎ、長期にわたり信頼性の高いコンクリート構造物を製作するため、設計、施工、維持管理、配合・材料面からの対策法を学ぶことを目的として、福島県ではじめて開催されました。

「ひび割れの基本的な考え方」、「実務（設計・施工）におけるひび割れ対策」と題して岩城一郎氏、石川雅美氏による講演が行われました。

「ひび割れの基本的な考え方」では、ひび割れの基礎知識と施設管理者がひび割れに対する正しい知識を持つことの重要性について、「実務（設計・施工）におけるひび割れ対策」では、近年の特殊コンクリートの仕様と施工方法についてなど、いずれもコンクリート構造物の品質確保のための技術者の技術力を高めるのにたいへんためになるお話でした。



講習会風景

日時：平成20年11月4日
 場所：(財)ふくしま市町村建設支援機構 7階
 講演：「ひび割れの基本的な考え方」

日本大学工学部
 准教授 岩城 一郎 (いわき いちろう) 氏
 「実務（設計・施工）におけるひび割れ対策」
 東北学院大学工学部
 教授 石川 雅美 (いしかわ まさみ) 氏

参加者：124名



石川雅美 教授



岩城一郎 准教授

事務局よりお知らせ

会費について：正会員 月会費700円（全建320円＋福建380円） 準会員 年会費5,000円
 納入方法は、「銀行振込」または「事務局へ持参」のどちらかでお願いしております。
 「銀行振込」の場合 振込銀行口座：東邦銀行県庁支店 普通口座 1719 福島県建設技術協会 会長 根本博行
 *手数料はご本人の負担となります。 *準会員の方は、必ずご本人のお名前でお振り込みください。
 「事務局へ持参」の場合 事務局所在：福島市杉妻町2-16 県庁土木部道路総室道路整備課（本庁舎3階）事務局員 小林晴弥
 *旅費は支給できません。

会員として長い間ご活躍されましたが、この度記載の方々のご逝去されましたので、謹んでお悔やみ申し上げます。
 県北方部 準会員 東條 方英様 79歳 平成20年11月 いわき方部 準会員 川俣 博様 68歳 平成20年11月

◆福建のホームページをご覧ください！ <http://www.fukken.net> ◆会員へ活動のお知らせ、建設ふくしまニュース、各部の活動状況等、福建の最新情報がホームページに掲載されておりますので、ぜひ覗いてみてください。